

北海道高等学校文化連盟

第11回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 主 管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟道南支部
- 3 後 援 北海道教育委員会
函館市教育委員会 函館市
- 4 当 番 校 北海道大野農業高等学校
北斗市向野2丁目26番1号
TEL 0138-77-8800
FAX 0138-77-8133
- 5 目 的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場を設ける。
- 6 テ ー マ 始めよう 伝えよう 未来の笑顔を支える福祉と豊かな歴史
～函館から生まれる絆～
- 7 期 日 平成26年11月13日（木曜日）12：00～16：50
11月14日（金曜日） 9：00～12：30
- 8 会 場 函館市総合福祉センター（あいよる21）
函館市若松町33番6号 TEL 0138-22-6262
北斗市総合文化センター かなで～る
北斗市中野通2丁目13番1号 TEL 0138-74-2000
函館市縄文文化交流センター
函館市臼尻町551-1 TEL 0138-25-2030
北斗市おしまコロニー
北斗市当別697 TEL 0138-75-3018
- 9 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- 10 参加経費 1校 1,000円（事前振り込みまたは当日受付で徴収します）

11 研修内容

(1) 全体講演 演題 函館の歴史と五島軒の歩み

講師 若山 直 氏

株式会社 五島軒 代表取締役社長

(2) 分科会

第1分科会～第12分科会・・・詳細は別紙「分科会のご案内」参照

12 日程 第1日目 (11月13日 木曜日)

11:30～12:00 受付

12:00～12:20 顧問・代表者会議

12:30～12:50 開会式

13:00～14:30 全体講演

14:50～15:00 総文祭報告

・北海道帯広大谷高等学校

15:00～15:30 実践報告

・北海道松前高等学校

・高文連道南支部ボランティア部会

15:40～16:30 交流の場

16:30～16:50 分科会ごとに諸連絡

第2日目 (11月14日 金曜日)

9:00～11:00 分科会

11:20～12:00 全体会

12:10～12:30 閉会式

13 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、9月30日(火)までに
大会事務局宛に E-Mail または FAX で送信をお願いします。

参加申込書 (Excel2007 形式と Excel97-2003 形式) は大野農業高校HP
からダウンロードできます。

14 宿泊申込 宿泊等は特に斡旋いたしません。各学校で対応してください。

15 大会事務局 第11回全道高等学校ボランティア研究大会事務局 (担当 上村)

〒041-1231

北海道北斗市向野2丁目26番1号 北海道大野農業高等学校内

TEL 0138-77-8800

FAX 0138-77-8133

E-Mail oononougyou-jimu@hokkaido-c.ed.jp

HP

<http://www.oononougyou.hokkaido-c.ed.jp/>

分科会のご案内

今研究大会の分科会は12の分科会を開講します。各分科会の内容は次のとおりです。場所が全体会と異なる場合は記載しています。確認の上選択してください。

各分科会の活動には人数の制限がある場合があります。そのため分科会の希望は必ず第3希望までご記入ください。希望人数と受け入れ可能活動人数の関係で希望通りにならないことがありますのでご了承ください。調整後、第1希望以外の分科会となった場合は必ずご連絡いたします。

第1分科会 知的障がいのある方への支援の実際

～おしまコロニーの実践をとおして～ 場所：おしまコロニー

講師 社会福祉法人侑愛会 ワークショップまるやま荘

課長 紀谷 智彦

おしまコロニーは昭和42年に知的障害児施設を開設して、今年で46年を迎えました。開設当初より

利用者一人ひとりのニーズを受けとめ、最も必要としている支援を提供するために、様々な事業を展開することで、福祉施設の集合体となりました。施設相互で連携し、機能共同体としての利用者のトータルライフの支援を展開しているおしまコロニーの実践をとおして、実際に知的障がいのある方達と触れ合い

安心して豊かに暮らすための支援について考えてみましょう。

*北斗市当別への移動がありますのでご注意ください。(「あいよる21」8時集合で送迎バス利用)

第2分科会 障がい児とサマースクール

～サマースクールに参加しよう～ 場所：北斗市かなでーる

講師 障害者生活支援センターぱすてる 所長 河村 吉造

障がい児の方々が、長い夏休みの一時に外出する機会を持ち、様々な人との関わりの中で色々な経験や体験することが、その人の将来にプラスになるように願いを込め、私たちは毎年サマースクールを実施しています。保護者の方や家族の方の休息の大切さについても考えてみましょう。また、身体障害・視覚障害の支援の仕方についての実技を実施します。

*北斗市への移動がありますのでご注意ください。(「あいよる21」8時30分集合で送迎バス利用)

第3分科会 ユニバーサル上映映画を楽しもう 場所：北斗市かなでーる

講師 北海道ユニバーサル上映映画実行委員会

代表 島 信一朗

ユニバーサル上映映画とは目の見えない、耳の聞こえない方でも映画を楽しめるようにす

るものです。視覚障害者への音声ガイド、聴覚障害者への字幕とミュージックサイン（手話・ボディジェスチャー）を用いてみんなで楽しむ映画祭の紹介と実際に簡単なデモンストレーションを体験してもらいます。

*北斗市への移動がありますのでご注意ください。（「あいよる21」8時30分集合で送迎バス利用）

第4分科会 北斗市社会福祉協議会との連携

場所：北斗市かなでーる

講師 北斗市社会福祉協議会 主事 後藤 佳久

大野農業高等学校ボランティア部

「社会福祉協議会（社協）って何？」「そこではどんなことをしているの？」各地にある社協は社会になくてはならないものです。社協について説明していただき、連携をとって活動している大野農業高等学校の実践発表があります。映像や説明、実践発表から社会福祉協議会（社協）について学びましょう。

将来、福祉関係や社協職員の仕事に就きたい人、ずっとボランティア活動を続けたい人にお勧めです。

*北斗市への移動がありますのでご注意ください。（「あいよる21」8時30分集合で送迎バス利用）

第5分科会 観光ボランティアの実際

～函館市青函連絡船記念館「摩周丸」見学と函館駅周辺ガイドを通して～

場所：函館駅周辺

講師 観光ボランティア「一會の会」 守屋 弘

函館市青函連絡船記念館は、1988年（昭和63年）3月13日の青函連絡船最後の日まで運行していた「摩周丸」を産業遺産として保存・展示しています。操蛇室（栈橋）、無線通信室などが当時のまま残っております。見学しながら青函連絡船の歴史や船のしくみをガイドが説明します。また、JR 函館駅から駅前の若松町の歴史のある街並みを中心に、観光ボランティア一會の会のガイドを実際に聞き、ガイドのしかたを学びます。 *「函館駅前」集合になります。ご注意ください。

第6分科会 函館市電100年の歴史を支えたボランティアの紹介

場所：函館市市電

講師 函館チンチン電車を走らせよう会

函館市企業局交通部事業課 湊 公宏

第2次世界大戦を経て100年以上に渡って、なぜ函館市電が継続することができたの

か？

そしてハイカラ號はどのように奇跡の復活を遂げたのか？

函館市電の基地である駒場車庫を見学し、貸し切りのトリム（函館市電）で市内を巡りながら、その謎を解き明かしてみませんか。

***各自、8時50分市電乗り場「駒場車庫前」集合になります。ご注意ください。**

市電利用の場合：函館駅前→湯ノ川行き「駒場車庫前」下車 約30分240円

：湯ノ川方面→谷地頭、函館どっく行き「駒場車庫前」下車 約5分2

10円

第7分科会 五稜郭を舞台にしておくる歴史スペクタクル「函館野外劇」

～星の城、明日に輝け～

講師 NPO 法人 市民創作「函館野外劇」の会

「函館野外劇」は国内最大級の市民創作劇です。函館地方の歴史の中で災害や戦争を乗り越え復興してきたことを訴え、現代の函館に希望を与えます。

この第7分科会では「函館野外劇」をさらに熟知していただくために、劇中の演技を鑑賞したり、いくつかのシーンを実際に体験し、ボランティア学習実践の場として高く評価されている「函館野外劇」に参加した気分を十二分に味わっていただきたいと思います。みなさんの参加をお待ちしております。

第8分科会 地域の歴史・文化を守り伝えよう

～縄文文化の保存と普及活動～ 場所：函館市縄文文化交流センター

講師 函館市縄文文化交流センター 館長 阿部 千春

函館市の南茅部地区は、縄文時代の土器や遺跡が数多く発掘された地です。中でも国宝に指定された中空土偶が有名であり、地元の函館市縄文文化交流センターに展示されています。本分科会では現地に足を運んでいただき、縄文文化の保存や普及についての講話を聞き、また館内見学をする予定です。実際に縄文文化に触れながら、歴史や文化を守り伝えることの意味を考えましょう。

*南茅部地区への移動がありますのでご注意ください。（「あいよる21」8時集合で送迎バス利用）

第9分科会 点訳ってなあに？点字を体験してみよう！

～点字を打つ、読む、そして、みんなで1冊の本を創ろう～

講師 函館きつつき点訳奉仕団 代表 松尾 悦子

1冊の本を題材に、点訳の役割を知る機会としてもらいます。さらに点字の打ち方、読み方を体験します。また、参加者の方たちと1冊の本の点訳を一緒に行っていきます。

第 10 分科会 聴覚障がい者への支援の方法を知ろう

講師 パソコン要約筆記サークルつばさ 代表 長沢 真由美

「聴覚障がい」にも様々なタイプがあり、聞こえは人それぞれ違います。病気や事故などにより、人生の途中で耳が不自由になる人もいます。

「耳が不自由な人には手話」のイメージがありますが、手話のわからない人もいます。話していることを文字にして伝える通訳が「要約筆記」です。手書きとパソコンで体験してみましょう。

第 11 分科会 絵本の読み語り講座

講師 絵本読み語りグループ「マシュマロ」代表 弦木 恵美子

絵本は読んで聞かせるもの、読んでもらうもの。函館で長年絵本の読み聞かせ活動に尽力されている弦木さんを講師に迎え、「体を育てるごはん、心を育てる絵本」をキーワードに、読み聞かせの基本を学びます。

パネルシアター、ペープサート、手袋人形。幅広く奥深い読み聞かせの世界をご堪能ください。

第 12 分科会 被災地支援ボランティア～「出前レク」を通じて～

講師 七飯レクリエーション協会

七飯レクリエーション協会では近年、東日本大震災の被災地訪問に力を入れています。高齢者の孤立・閉じこもりを少しでも解消したいという願いと、子どもたちの「笑顔・元気」再燃のため、定期的に「出前レク」を行っています。この取り組みについて紹介していただき、被災地に求められるボランティアについて考えていきましょう。ペットボトルやクラフト作りも体験してもらいます。

※引率の先生方も分科会を選んでいただきます。

今年度の分科会は場所が離れているため、選んだ分科会以外は見ることができない場合があります。

第 1、5、6、8 分科会は、他の分科会を見ることができません。

第 2、3、4 分科会は北斗市の「かなでーる」内ですので、「かなでーる」内は移動して自由に見ることができますが、他の分科会を見ることができません。

第 7、9、10、11、12 分科会は全体会場「あいよる 21」内です。「あいよる 21」内は移動して自由に見ることができますが、他の分科会を見ることができません。

このことを理解していただき、先生方も分科会を選択してください。バス乗車人数の関係がありますので、当日の変更が難しい場合があります。